

三三

文内外  
8.1.5

勅授

丙  
七九一十三

立案 昭和 年 月 日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

元外務省政務局長安東義良外  
十四名特旨叙位一件

昭和十年十月十一日裁可十月十七日達  
臺帳記入十月二十二日官報報告済

裏面白紙

286



元外務省政務局長安東義良外  
十四名特旨叙位ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十年十月十一日

内閣總理大臣男爵幣原喜重郎

内閣



公盆第七四號

案起

昭和三十年十月

日

決定昭和

年

月

日施行

昭和

年

月

日

裁可 昭和三十年十月十一日

内閣總理大臣 印

内閣書記官長 印

内閣書記官 印

印

元外務省政務局長 安東 義良外  
十四名特旨叙位ノ件

例文 辭令案

内閣

裏面白紙

288

めくれず

裏面白紙

内閣

七四

戊

敍正四位  
 昭和二十年大正十四年九月十七日  
 元外務省  
 安東 義良  
 依願免本官在職  
 十年  
 以上  
 從四位

右文武官敍位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田



外務省

289



めくれず

裏面白紙

内閣

×  
=

叙正四位  
昭和二十年大正十二年二月六日  
元終戰連絡中央  
岡崎勝男  
九月二十九日領事官補任官以來  
事務局長官從四位  
依願免本官高等官在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田



外務省

成

290

内閣外位 六十七

めくれず

裏面白紙

正四位  
 昭和二十年九月二日  
 大正十二年二月五日  
 元大使館參事官從四位  
 依願免本官  
 任領事官補以來  
 在職滿十年以上  
 鶴見 憲

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田



外務省



めくれず

裏面白紙

大正二十九年七月

敍正四位  
昭和二十年大正十一年四月十日  
依願免本官高等官在職十年以上  
元大使館參事官高瀬眞一

敍從四位  
昭和二十年大正十二年二月六日  
依願免本官高等官在職十年以上  
元大使館參事官高津富雄

右文武官敍位進階内則第四條ニ依リ謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田



外務省

戊

292

大正十五年二月二十日

大正十五年二月二十日  
任都計地委委員會  
技師以來在職十年以上  
赤司 貫一

右文武官敍位進階内則第四條ニ依リ謹テ 奏ス

昭和二十年十月九日

内務大臣 堀切



内務省

めくれず

裏面白紙



内閣人位第九五九番

文部省

めくれず

裏面白紙

依願免官	依願免官	依願免官
昭和廿年九月三日	昭和廿年九月三日	昭和廿年九月三日
奎九年四月十二日任東京女子高等師範學校教授以來在職滿十年以上	奎十四年十二月二十四日任九州帝國大學教授以來在職滿十年以上	奎七年八月三十一日任九州帝國大學教授以來在職滿十年以上
正四位下	正四位下	正四位下
田光造	田光造	田光造
實	實	實
元九州帝國大學教授	元九州帝國大學教授	元九州帝國大學教授
實	實	實

有文武官位者依願免官

昭和廿年九月九日

文部大臣 前田 多門

294

めくれず

裏面白紙

二三一

運輸通信省

特旨

特旨 叙正四位  
依願免本官

大正二十三年五月十四日  
在職滿十年以上  
大正十五年五月三十日  
在職滿十年以上  
在職滿十年以上

元運輸省港灣局長 從四位 嶋野貞三  
同 山東 功

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ  
謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄





内閣人選令第二四九

運輸通信省

特旨

敍正四位  
依願免本官  
大正七年六月十日  
任職滿十年以上  
元鐵道監・從四位・阿部 謙夫

右文武官敍位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄



めくれず

裏面白紙

めくれず

裏面白紙

二二二

運輸通信省

特旨

敍從四位  
昭和二十年九月十九日  
昭和二十年七月十五日  
元鑑道監正五位小川清一

依願免本官  
昭和二十年七月十五日  
在職滿十年以上

右文武官敍位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄





めくれず

裏面白紙

三五〇

運輸通信省

特旨

・依願免本官 叙從四位

昭和二十年十月一日

昭和二十一年七月十五日  
任鐵道局技師以來  
在職滿十年以上

元鐵道監 正五位 板橋 三郎

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄



三五〇

秘

人勳秘第三二八號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田



内閣總理大臣

男爵幣原喜重郎殿

元外務省政務局長安東義良特旨敍位ノ件

元外務省政務局長安東義良特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可然  
御取計相成度此段申進候也

主任者 人事課 笠原

299



外務省



秘

人勅秘第三二八號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣

男爵幣原喜重郎殿

元外務省政務局長安東義良特旨敍位ノ件

元外務省政務局長安東義良特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可然  
御取計相成度此段申進候也



直  
奉  
送  
書  
ノ  
呈  
正  
王

めくれず

裏面白紙

外務省

秘

人勳祕第三二七號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣 男爵幣原喜重郎殿

元終戰連絡中央事務局局長岡崎勝男  
特旨敍位ノ件

元終戰連絡中央事務局局長岡崎勝男特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致  
候間可然御取計相成度此段申進候也



主任者 人事課 笠原



付受

300

外務省



秘

人勳祕第三二七號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣 男爵幣原喜重郎殿

元終戰連絡中央事務局長官岡崎勝男  
特旨敍位ノ件

元終戰連絡中央事務局長官岡崎勝男特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致  
候間可然御取計相成度此段申進候也



録書  
原

2010.10  
付

2010.10  
付受

300

めくれず

裏面白紙

外務省

秘

人勳祕第三〇四號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣 **男爵 幣原喜重郎** 殿

元大使館參事官鶴見憲特旨敍位ノ件

元大使館參事官從四位鶴見憲特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可  
然御取計相成度此段申進候也



主任者 人事課 笠原

外務省

(日本標準規格B5)

2010.10  
付



秘

人勅秘第三〇四號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣 **男爵 幣原喜重郎** 殿

元大使館參事官鶴見憲特旨敍位ノ件

元大使館參事官從四位鶴見憲特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間可  
然御取計相成度此段申進候也



庶務課長 星野

20.9.29

20.10.10

めくれず

裏面白紙

外務省

(日本標準規格B5)

秘

人勳祕第三二六號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣

男爵幣原喜重郎殿

元大使館參事官高瀬眞一外一名特旨  
敘位ノ件

元大使館參事官高瀬眞一外一名特旨敘位ノ件別紙ノ通上奏致候間  
可然御取計相成度此段申進候也

主任者 人事課 笠原



外務省



秘

人勳祕第三二六號

昭和二十年十月九日

外務大臣 吉田

内閣總理大臣

男爵幣原喜重郎殿

元大使館參事官高瀬眞一外一名特旨  
敍位ノ件

元大使館參事官高瀬眞一外一名特旨敍位ノ件別紙ノ通上奏致候間  
可然御取計相成度此段申進候也



めくれず

裏面白紙

外務省

特旨敍位  
十月十七日期限

内務大 臣官房大 甲第 三六六六 號

別紙 赤 司 貫 一 特旨敍位 ノ件

上奏書進達ス

昭和二十年十月十九日

内務大臣 堀切



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

めくれず

裏面白紙

303

内





文 部 省

星野貞次特旨被位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭 和 卅 年 十 月 九 日

文 部 大 臣 前 田 多 門

内閣總理大臣

男爵幣原喜重郎殿

めくれず

裏面白紙

2010.10 付 304

文 部 省

豊田 實外二名特旨叙位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭和二十年 十月 九日

文 部 大 臣

前 田

多

門

内閣總理大臣 豊田 實外 特旨叙位ノ件

めくれず

裏面白紙



めくれず

裏面白紙

秘恩第一六六一號

元運輸省港灣局長從四位鳴野貞三外一名特旨敘位ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和二十年 十月 九日

運輸大臣 田中 武雄



内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

運輸省

29.10.9

乙 706

めくれず

裏面白紙

秘恩第一七四七號

元鐵道監從四位阿部謙夫特旨叙位ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄

内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿



運輸通



2010.10 付

307



めくれず

裏面白紙

秘恩第一六二一號

元鐵道監正五位小川清一特旨叙位ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄

内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿



運輸通信省

2010.10  
2019.22  
308

めくれず

裏面白紙

秘恩第一七四八號

元鐵道監正五位板橋三郎特旨敘位ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和二十年十月九日

運輸大臣 田中 武雄

内閣總理大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿



運輸



309





丙 發 第一八九號

一 元外務省政務局長 正四位 安東 義良 外四位  
右の者の位記と辭令とを送りますから本人に交付せられたい

昭和三十一年六月十九日

宗秩察總裁侯爵 松平 康昌

外務大臣 芦田 均 殿

昭和三十年勳秋才三二八号、三二七号、三〇四号、三二六号

官 内 省

裏 面 白 紙

裏面白紙

丙 發第二八八號

一元都市計畫地方委員會技師徒四位 赤司 貫一  
右の者の位記と辭令とを送りますから本人に交付せられたい

昭和三十三年六月十九日

宗秩寮總裁侯爵 松平 康昌

内務大臣 木村小左衛門 殿

昭和三十三年甲才三六六六号

官 内 省

二號野紙



丙 發第一八七號

一元九州帝國大臣教授 正三位 豐田 實外七名  
右の者の位記と辭令とを送りますから本人に交付せられたい

昭和二十三年 六月十九日

宗秩寮總裁侯爵 松平 康昌

文部大臣 森戸 辰男 殿

昭和二十年 度

二號紙

裏面白紙

宮内省